

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：生活環境課

シート No.：72

作成日：2026. 3/11

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 自然と調和した生活環境をつくる	公害に関する事案は毎年発生しており、発生元の特 定から解決までかなりの時間を要しています。 また、公害に関する苦情も年間を通して多数寄せ られています。	市民と企業がお互い気持ちよく共生できる環境 づくりを目指すためには、公害の監視体制の確立 や問題の早期発見、解決が求められます。 特に水質事案は、周辺環境への影響を最小限に するために、オイルマットを設置するなどの早急 な対応が必要となります。 それらの早期対応や早期解決に努めるため、市 関係各課や茨城県等と連携し、迅速に対応します。 また事案解決に平行して、事業所排水や河川水の 水質検査を実施していくことで、自然と調和した 生活環境を目指します。
	施策	2 公害防止		
	施策内容	公害の監視・指導の推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	常総市公害防止条例・水質汚濁防止法		
事務事業名		公害防止推進事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	事業所排水水質分析調査 （R8・9・10）	市内事業所における排水の水質分析及び指導	実施件数（件）	41	41	1,083 千円	千円
②	大気汚染（ばい煙）事案調査 （R8）	市内で発生した野焼き等に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	－	－	0 千円	千円
③	騒音及び振動事案調査 （R8）	市内で発生した音や揺れに関する事案調査及び指導	実施件数（件）	－	－	0 千円	千円
④	悪臭事案調査 （R8）	市内で発生した臭いに関する事案調査及び指導	実施件数（件）	－	－	220 千円	千円
⑤	水質事案調査 （R8）	市内で発生した水質に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	－	－	203 千円	千円
⑥	河川水水質分析調査 （R8・9・10）	市内河川における水質分析及び調査	実施件数（件）	80	80	1,586 千円	千円
⑦	広域公害調査研究会 （R8・9・10）	他市町村との公害対応の研究及び鬼怒川における水質分析	実施件数（回）	2	2	103 千円	千円
⑧	土壌事案調査 （R8）	市内で発生した土質に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	－	－	176 千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①	事業所採水基準適合率（％）	採水した水が水質基準に適合しているかを数値で管理するためであり、これにより事業者に対して水源汚染や処理工程の問題を早期に把握でき、水環境の保全が向上します。	95	90		令和9年度 90
②③④⑤⑧	公害事案解決率（％）	公害苦情に迅速に対応し、問題を解決することで良好な生活環境を維持する。また、未解決事案を減らし、苦情の長期化を防ぐための管理指標となります。	82.1	100		令和9年度 100
⑥⑦	河川採水基準適合率（％）	河川の水質が基準を満たしているかを数値で把握し、水環境の健全性を確認するためである。継続的な採水調査により、水質悪化を早期に発見できるためです。	61.8	90		令和9年度 90

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	